

真夏の祭典!!

カルメン、アランフェス、そしてこれぞ本場のボレロ——。

情熱の都マドリッドより26年ぶりの来日!

岩手日報創刊
140周年記念事業

スペイン国立管弦楽団

[Program]

ビゼー
カルメン組曲より
Bizet : from "Carmen" Suite

ロドリゴ
アランフェス協奏曲
Rodrigo : Concierto de Aranjuez

ファリヤ
スペインの庭の夜
Falla : Noches en los jardines de España

ラヴェル
ボレロ
Ravel : Boléro



指揮
アントニオ・メンデス



ギター
パブロ・ヴィレガス



ピアノ
ジュディット・ハウレギ

2016. 7.19 (火) 午後7時 開演
(午後6時30分 開場)

盛岡市民文化ホール 大ホール
(盛岡市盛岡駅西通 2-9-1 マリオス内)

<http://www.mfca.jp/shiminbunka/>

《全席指定》

【前売料金】S席 7,500円 A席 6,500円 B席 5,500円 (当日各500円増)

【*My*friends 料金】S席 6,750円 A席 5,850円 B席 4,950円(前売のみ/1会員2枚まで)

※ *My*friends チケットは盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホールでのお取扱いとなります。この公演は28年度入会手続きをお済ませのうえ、お買い求めください。

※未就学児は入場できません。

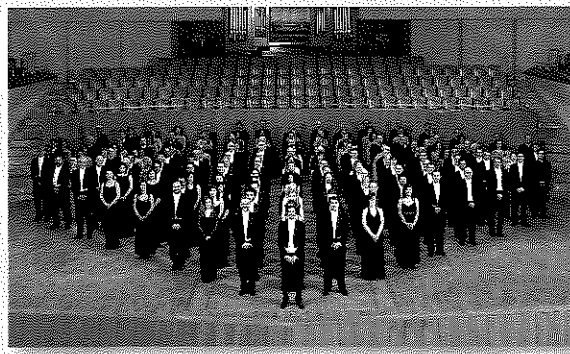
【プレイガイド】

カワトク、アネックス・カワトク、フェザン、マリオスインフォメーション、岩手県民会館、江釣子 SC パル、プラザおでっ、岩手日報社事業部、盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホール、ローソンチケット (Lコード=26740)、セブン-イレブン (セブンチケット)

3月3日木
発売

お問い合わせ・チケット予約：盛岡市民文化ホール Tel.019-621-5100 / 岩手日報社事業部 Tel.019-653-4121

【主催】盛岡市文化振興事業団、岩手日報社、テレビ岩手、日本アーティスト 【共催】盛岡市



スペイン国立管弦楽団 *Orquesta Nacional de España*

スペイン国立管弦楽団はスペイン有数の、合唱団を保有する交響楽団である。1942年、設立。歴代の指揮者には、アタウルフォ・アルヘンタ、ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス、アントニ・ロス＝マルバ、ヘスス・ロベス＝コボス、アルド・チェッカーらがいる。2003年からホセブ・ボンス、2014年からダヴィット・アフカムが首席指揮者を務めている。

最近では、グスターボ・ドゥダメル、ポール・マクリーシュ、マルク・ミンコフスキを客演指揮者として迎えている。2013/2014シーズンはセミヨン・ビシュコフ、クリストフ・エッセンバッハ、ケント・ナガノ、ファビオ・ルイーゼ等が指揮している。主な共演者には、これまでアルトゥール・ルービンシュタイン、ヴィルヘルム・ケンツ、クラウディオ・アラウ、アリシア・デ・ラローチャ、ユードイ・メニューイン、ナタン・ミルシテイン、ダヴィッド・オイストラフ、ムステイスラフ・ロストロポーヴィチ、ビクトリア・デ・ロスアンヘルス、ジェシー・ノーマン、グンドウラ・ヤノヴィツ、テレサ・ベルガンサ、アンネ＝ゾフィー・ムターといった最高のソリストたちとの共演が行われてきている。

レコーディングでは、ドイツ・グラモフォンからリリースした、パトリシア・ブティボンを迎えてのアマルゴのソナタ組曲「メランコリア」がグラミー賞を受賞、それにより同レーベルから「イベリア」、そしてストラヴィンスキーの「春の祭典」と「ペトリュシェカ」をリリース。グラモフォンとは長期的な良い関係を持っている。



アントニオ・メンデス *Antonio Méndez*

1984年スペイン・マジョルカ島のバルマ出身。

マジョルカ音楽院にてピアノとヴァイオリンを、後にマドリッド音楽院にて作曲と指揮法を学んだ。2007年よりベルリン芸術大学にてルッツ・ケラーに、ワイマール・フランツ・リスト音楽大学にてニコラス・パスケに師事。同世代の指揮者の中でも急速に注目される存在となっている。

これまでに、チューリッヒ・トーンハレ管、フランクフルト放響、マーラー・チェンバー、ウィーン・トーンキュンストラ管、バイエルン放響など多くの著名オーケストラを指揮し、多大な成功を収めてきた。2013年ロリン・マゼールが創設した「キャッスルトン・フェスティバル」に招待され、ブーランクの「人の声」を指揮して北米デビュー、絶賛を博し、同年ロサンゼルス・フィルにもデビューを果たす。

2014-15年シーズンには、スペイン国立管をはじめ、ウィーン響、ヘルシンキ・フィル、ザールブリュッケン放送交響楽団、新日本フィル、フランクフルト放響、トーンキュンストラ管などとも再び協演している。



パブロ・ヴィレガス *Pablo Villegas* ギター/Guitar

スペインのラ・リオハ州出身のギタリスト。世界30か国以上の国々で演奏するなど、近年の活躍は目覚ましく、スペインの文化大使として批評家たちから褒め称えられている。わずか15歳でアンドレアス・セゴヴィア賞を、クリストファー・パークニング国際ギターコンクールで金賞を受賞。エル・ホ・クリティコでは、スペインのギタリストとして初の優勝者となった。故・ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス率いるニューヨークフィルと共に、エイヴリー・フィッシャー・ホールにて最年少デビュー。グライ・ラマとスペイン王室のための演奏会に招かれ、多数のアカデミー賞受賞歴をもつジョン・ウィリアムス作曲、ギターのための作品を世界初演した。



ジュディット・ハウレギ *Judith Jáuregui* ピアノ/Piano

華麗でエレガント、そして個性的なアーティストとして認識されているジュディット・ハウレギ。近年、スペインの音楽シーンの中で最も重要なピアニストの一人と評価されている。マドリッド、バルセロナの国立オーデトリウム、サラゴサ、アリカンテのオーデトリウム、バリアドリッドのミゲルドリーブ・オーデトリウム、フアン・マーチ財団、グラナダやベララダでのフェスティバル、ビルバオ音楽祭やサンセバスチャンのグインセナ音楽祭等、主要な音楽祭に出演している。これまでにスペイン国立管弦楽団、マドリッドのコミュニティオーケストラ、バスク国立管弦楽団、オビエド管弦楽団、ビルバオ交響楽団、そしてミュンヘン管弦楽団やケルン新管弦楽団、オーフス管弦楽団、ベネズエラのシモン・ボリバル管弦楽団などのオーケストラと共演。また、指揮者アンドレイ・ボレイコ、ギュンター・ノイホルド、サンディエゴ・マテウス、マルク・ソウストロート、アレクサンダー・リープライヒ、ビクトル・パブロ・ベレス、クリストフ・スベリング、ローレンツ・ナチュイカと共演を重ねている。